



を

を

観

視

る

て

植物利用の考古学



2019年7月13日(土)～9月23日(月)

神戸市埋蔵文化財センター

後援：Kiss FM KOBE / NHK 神戸放送局 / 神戸新聞社

令和元年度夏季企画展

# 木を見て 森を観る

## ～植物利用の考古学～

2019年7月13日(土)～9月23日(月)

植物-木や草は、古より人々の「衣・食・住」にかかわってきた身近な資源のひとつです。近年、考古学の成果により、古代人たちが植物を巧みに利用してきたことが分かってきました。

植物利用の文化を知るには、考古資料が大変役立ちます。出土した種実や農具からは当時の植物食文化が分かります。また編物や織物、多様な木製品からも、古代の匠たちの技術力の高さを知ることができます。また顕微鏡を使った木材組織や花粉の分析では、用材や自然環境が分かります。このように、植物は過去について多くの情報を提供してくれる存在でもあります。

今回の展示では、遺跡から出土した考古資料を元に、植物利用の歴史を追っていきます。小さな木(考古資料)を視(み)て、大きな森(人々の暮らし)を観(み)てみましょう。



復元した原始機で布を織る(守山弥生織りの会)



入江内湖遺跡出土丸木舟(滋賀県埋蔵文化財センター蔵)



下加茂遺跡出土横杓子(兵庫県立考古博物館蔵)

### 《 関連イベント 》

講演会

#### 「編み織りの考古学」

聴講無料

- 日時: 8月18日(日) 14:00～15:30
- 講師: 東村 純子氏 (福井大学国際地域学部講師)
- 会場: 神戸市埋蔵文化財センター 研修室
- ※ 申込不要、当日先着 120名

ワークショップ

#### 「ミニチュア丸木舟をつくろう」

参加無料

- 日時: 8月25日(日) 14:00～16:00
- 講師: 中川 正人氏 (京都女子大学非常勤講師)
- 会場: 神戸市埋蔵文化財センター 研修室
- ※ 要申込: 定員 20名 (応募多数の場合は抽選)

夏休みの宿題にピッタリ!

無料

学芸員による  
展示解説とバックヤードツアー

学芸員による企画展の解説と、当館の普段非公開の収蔵庫などを特別に探検します  
●日時: 7月21日(日)・8月11日(日)・9月8日(日) / 各日 10:30～11:30・14:00～15:00

### 《 植物利用や木工に関連する『体験考古学講座』 》

要申込

- 7月20日(土)「火おこし器をつくろう」 500円
- 7月27日(土)「古代編みでコースターをつくろう」 300円
- 8月17日(土)「古代の編み機をつくろう」 500円
- 9月14日(土)「古代の染物をしよう」 800円

～イベントの申込方法はHPまたは当センターまでお問い合わせください～

#### ご利用案内

入館料: 無料  
 開館時間: 10:00～17:00(入館16:30まで)  
 会期中の休館日: 7月16日(火)・22日(月)・29日(月)  
 8月5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)  
 9月2日(月)・9日(月)・17日(火)  
 神戸市イベント案内・申込センター TEL:078-333-3372

#### 交通のご案内

地下鉄: 三宮駅から西神中央駅まで約30分  
 バス: 明石駅から西神中央駅まで約35分  
 ■各線西神中央駅から徒歩8分  
 ■駐車場はありません

KOBE  
UNESCO City of Design

#### 神戸市埋蔵文化財センター

〒651-2273 神戸市西区糀台6丁目1 西神中央公園内  
 TEL:078-992-0656 FAX:078-992-5201 神戸まいぶん検索

